

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302

必修 2単位

玉置 知巳

1. 授業の概要(ねらい)

秋学期では、春学期に引き続き、『デジタル化する新興国』（伊藤亜聖著）をテキストとして、内容の把握、そのポイントを伝えるプレゼン資料の作成、プレゼンの実施、プレゼンに対する建設的なコメントの提供、の一連の活動を進めていきます。社会人となる準備として、プレゼン力やコミュニケーション力を磨いていくことを目標とします。この演習で身につけるスキルが、就活時や社会人となった時に役立つものとなるよう意識されたプログラムを組みます。

2. 授業の到達目標

○新興国、特にアジアの新興国に焦点を当てて、急速に進むデジタル化経済の動向についての理解を深めること、○わかりやすいプレゼン資料をパワーポイントの諸機能を用いて作成することができること、○他の受講生が作成したプレゼン資料に対して具体的な改善点を提案できること、○メールのやり取りなどを通じて適切なコミュニケーション力を示すことができること、を主な到達目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

成績評価は、プレゼン資料の最終成果物、プレゼンテーション力、建設的なコメントの提供、理解度チェッククイズの点数、などを総合的に評価して決定します。

4. 教科書・参考文献

教科書

伊藤亜聖 『デジタル化する新興国』 中央公論新社(中公新書)

5. 準備学修の内容

テキストの該当部分を事前に読み込んでおくこと。
プレゼンの担当者は、プレゼン資料を事前に作成すること。

6. その他履修上の注意事項

日ごろから、アジアの動向に関する報道などに関心をもって接するように心がけましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 飛び越え型発展の論理①: デジタル時代の「後発性の利益」 キーポイントの把握
- 【第2回】 飛び越え型発展の論理①: デジタル時代の「後発性の利益」 プレゼンテーションとディスカッション
- 【第3回】 飛び越え型発展の論理②: 甦る幼稚産業保護論 キーポイントの把握
- 【第4回】 飛び越え型発展の論理②: 甦る幼稚産業保護論 プレゼンテーションとディスカッション
- 【第5回】 飛び越え型発展の論理③: 再び問われる社会的能力 キーポイントの把握
- 【第6回】 飛び越え型発展の論理③: 再び問われる社会的能力 プレゼンテーションとディスカッション
- 【第7回】 新興国リスクの虚実①: インフラでの限定的な役割 キーポイントの把握
- 【第8回】 新興国リスクの虚実①: インフラでの限定的な役割 プレゼンテーションとディスカッション
- 【第9回】 新興国リスクの虚実②: デジタル化と雇用の緊張関係 キーポイントの把握
- 【第10回】 新興国リスクの虚実②: デジタル化と雇用の緊張関係 プレゼンテーションとディスカッション
- 【第11回】 新興国リスクの虚実③: 競争を歪めるプラットフォームと財閥 キーポイントの把握
- 【第12回】 新興国リスクの虚実③: 競争を歪めるプラットフォームと財閥 プレゼンテーションとディスカッション
- 【第13回】 デジタル権威主義とポスト・トゥルース: プレゼンテーションとディスカッション
- 【第14回】 共創パートナーとしての日本へ: プレゼンテーションとディスカッション
- 【第15回】 プレゼン資料の最終成果物の提示と理解度チェッククイズ